

2023年12月7日

神戸アリーナプロジェクトにて「ZEB Ready」認証を取得 ～大規模アリーナ施設(収容人数 10,000 人規模)で国内初～

NTT都市開発株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 辻上 広志）は、2023年4月に新築工事に着手し、2025年2月竣工、2025年4月開業に向けて開発を進めている神戸アリーナプロジェクトにて、大規模アリーナ施設(収容人数 10,000 人規模)では国内初^{※1}となる「ZEB Ready」認証を取得しましたので、お知らせいたします。

当社は、NTTアーバンソリューションズグループが掲げる環境負荷低減の取り組みスローガンに基づき、ZEBなどの環境認証取得等、環境に配慮した不動産開発に積極的に取り組んでおります。

本物件においては、アリーナ気積縮小による空調負荷の低減^{※2}、全熱交換器の導入、CO₂濃度センサーによる外気導入量制御等により、基準一次エネルギー消費量から約52%の削減を達成し、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）認定の最高評価（五つ星）を獲得するとともに、「ZEB Ready」認証^{※3}を2023年9月30日付で取得いたしました。

当社はこれからも、環境性能に優れた建物の開発などを通じて、持続可能でカーボンニュートラルな社会の実現に貢献してまいります。



「神戸アリーナ（仮称）」外観イメージ（北西突堤基部から望む）

- ※1 「BELS 評価書交付物件事例データ一覧」（一般社団法人住宅性能評価・表示協会、2023年11月20日現在）に基づく、収容人数 10,000 人以上のアリーナ施設のなかで国内初です。
- ※2 V 字の屋根形状によりアリーナ内部の気積を縮小し、空調負荷を低減できる計画です。
- ※3 ZEB Ready とは、『ZEB』を見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化および高効率な省エネルギー設備を備えた建築物と定義されています。判断基準としては、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から 50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物となります。なお、本施設の ZEB Ready 認証範囲は、飲食・物販店舗部分を除いた「観覧場用途」の範囲です。

■環境性能向上のポイント

○建築導入技術

- ・アリーナ気積縮小による空調負荷の低減
- ・開口部の限定や、アリーナ外周へのバッファースペース配置による外皮負荷軽減
- ・屋上緑化 など

○設備導入技術

- ・全熱交換器の導入
- ・CO₂濃度センサーによる外気導入量制御
- ・空調設備のインバータ制御
- ・空調空気のカスケード利用
- ・LED照明、人感センサーの採用 など



BELS★5 ZEB Ready を取得

【関連リリース】

- ・ [「神戸アリーナプロジェクト」開発計画本格始動 スポーツ・エンターテインメントの最先端アリーナ、都心・ウォーターフロントの新たなランドマーク | NTT 都市開発 \(nttud.co.jp\)](#) (2022年12月15日)
- ・ [「神戸アリーナプロジェクト」における新築工事着工について B.LEAGUE「西宮ストークス」本拠地、多様なイベントに対応する次世代アリーナ | NTT 都市開発 \(nttud.co.jp\)](#) (2023年4月18日)

<神戸アリーナプロジェクト 概要>

事業名称：新港突堤西地区（第2突堤）再開発事業
 所在地：神戸市中央区新港町130番1、130番2
 敷地面積：約23,700㎡
 延床面積：約32,300㎡
 階数：7階
 収容客数：約10,000人
 構造：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
 用途：観覧場、飲食・物販店舗
 竣工時期：2025年2月（予定）
 開業時期：2025年4月（予定）
 土地所有者：神戸市
 建物所有者：NTT都市開発株式会社
 運営会社：株式会社One Bright KOBE
 設計・施工会社：株式会社大林組
 コンストラクションマネジメント会社：株式会社山下PMC

お問い合わせ先

広報室 鈴島・若松 nttud-pr@ntt-us.com